

管理所レビュー VOL.11

(H29.10.4 水源林管理所)

9月20日(水)の第12回のボランティア活動は、曇が多いながらも晴れ間の見える秋らしい空模様となり、予定どおりに間伐作業を実施することが出来ました。皆様、大変お疲れ様でした。

早いもので、今年の活動も残すところ2回となりました。残りの活動も事故やケガを絶対に起こすことのないよう、安全第一の作業にご協力をよろしくお願いします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 54名のご参加、ありがとうございます！



青空が垣間見え、気温も最適。



しっかり体をストレッチ。



今日の作業の安全を祈願。

2 作業の様子とワンポイントアドバイス



ロープ設置時の移動も注意。



ロープ引きはなるべく直線で。



玉切り作業は山側で。



補助ロープでのサポート、大切です。



沢中での作業は足元注意。



綺麗な枝払い。



集積材の上では気をつけて。



伸びのあるスギの伐倒に注意。



救急箱とAEDが4班入口に移動します。

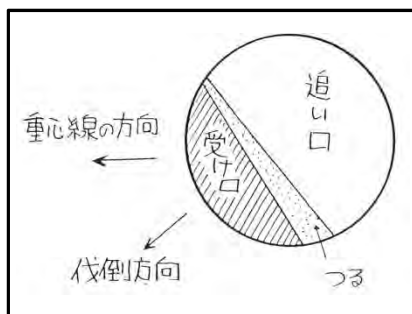
3 著しい傾き木の伐倒は要注意

著しい傾き木は、予定した伐倒方向に倒しにくく、伐倒時に裂けたりするため、次のことに注意しましょう。

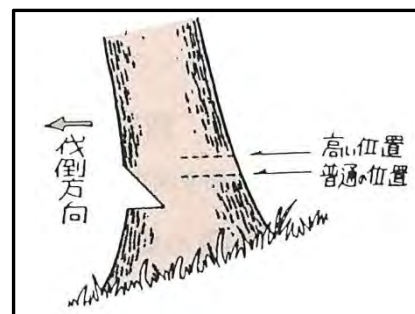
- ① 伐倒方向は、なるべく重心のかかっている方向を避ける。
※重心線の方向（傾きの方向）へ倒すと、倒れる速度が速くなり、木が裂けたり、方向がずれたりすることがあるので危険です。伐倒方向は、重心線から左右30度程度の方向がベストです。
- ② 受け口は、深め（やや大きめ）に切る。
※予定した伐倒方向に確実に倒すため、受け口は深め（やや大きめ）に切りましょう。
- ③ 追い口の高さは、通常的位置より高くする。



傾き木の伐倒に注意。



伐倒方向は重心線としない。



追い口切りの位置を高めにする。

「伐木造材作業者必携より一部抜粋」

4 インストラクター認定実習・・・間伐編

今回の活動日には、「道志の森インストラクター」への昇格候補者3名の認定実習が実施されました。

現地指導員と水源林管理所職員の指導のもと、参加者への指導と監督、安全管理など、基本の再確認と指導のポイントについて、インストラクターとしてのスキルを身に付けるための実習が実施されました。

自分で作業することは出来ても、安全を意識した作業や行動を他人へ指導することは大変難しい事です。

これからの安全活動には、「インストラクター」の活躍がますます重要になります。しっかりと技術と知識を身に付けた多くの指導者が増えていくよう、水道局でも出来る限りのサポートをしていきたいと思っておりますので、引き続き、ご協力よろしくお願ひします。



研修に際しての注意事項など。



木回しを使ったかかり木処理。



間伐研修終了。お疲れ様でした。

※ 4班～9班用の救急箱とAEDの設置場所を移動しましたので、次回の活動時に、確認をお願いします。

※ 10月11日（水）は、曇り、最高気温21度、降水確率40%の予報となっています。

★それでは10月11日、気をつけてお越してください。